

闘虎

No. 16 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成20年 秋季号



これが五輪のメダルか！！

松永共広レスリング教室

11月1日(土)、群馬県総合スポーツセンターにおいて「松永共広レスリング教室」が行われた。この日県内の高校生は新人戦があったため、参加したのは群馬大学とジュニアクラブの前橋パレイストラ、太田俱樂部。講演会など多忙な日程をこなした松永選手との練習時間は約1時間。そのため、技術指導はやめて、参加したジュニアレスラーとの総当りスパリングとなり、これには子供たちや保護者が喜び、一人ひとりに見せ場を作る松永選手のうまさが大いに盛り上がった。しかし、ある選手の光速の飛行機投げに松永選手は思わず反転。すかさず同じ技で投げ返した。最後にMVPに相当する「松永賞」は？との質問には「飛行機投げの子」と、太田俱樂部の寺田光輝選手(太田南中1年)を挙げた。仕上げは参加者全員で記念写真を撮って、松永選手は群馬を後にした。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第16回 西邑楽高校



世界銀の先生が毎日指導 ぐんまの女子の拠点に！

11月22日から3日間、西邑楽高校において女子だけの強化合宿が組まれました。指導するのは同校の清水真理子先生と特別講師として招かれた清水美里さん。参加したのは県内の高校生と中学生20人。この光景を見て、常にこの位の部員がいれば女子の強化ができると感じました。

西邑楽高校レスリング部が誕生したのは昭和56年。元アジア王者の金子博先生(現県協会理事長)により始動、発足当初は2、3人という部員でしたが、熱血指導の積み重ねにより、高校3冠王、後のオリンピック選手、インターハイ団体準優勝など県史に残る戦績を収めています。金子先生の教え子は「金子塾」としていまだに集まりがあり、館林高校の針谷豊監督も金子塾生です。その後、長井保幸先生にバトンタッチされても、関東選抜団体2位、そして後の全日本王者を育てるなど、うまく引き継がれました。そして今、指導に当たるのは元全日本王者、世界選手権銀メダリストの清水先生。「今は苦しいけどやりぬけば必ず得るものがある、やってよかったです」と思えるときが来る。選手にこの想いを強く発しながら指導しています。そのうち「マリコ塾」が結成される日が来るのではないのでしょうか。

SCHEDULE

■天皇杯全日本
レスリング選手権大会
12月21日(日)~23日(火)
東京・代々木第2体育館

■館林市スポーツ少年団
クラブ交流大会
1月12日(月)
館林市城沼総合体育館

■関東高校選抜
レスリング大会
1月31日(土)・2月1日(日)
東京・駒沢公園体育館

■関東甲信越
少年レスリング大会
2月22日(日)
館林市城沼総合体育館



松島秀行さん(邑楽町・37歳)
「思い出の一葉」
レスラーの成長

□「昔の写真を持って来い」と言われ、迷わずこの写真を選びました。編集に当たる茂木先輩から「オレが写っている写真はダメだ」と言われましたが、私(後列左)にとっては館林高校1年生のときが一番印象に残っています。3年の先輩方の強さに憧れ、とても尊敬していました。団体第3位になった岡山のインターハイ。帰りに和歌山県に寄って、高田先生の奥さんの実家にも行きました。砂利を掘ると温泉が出る川。夜の花火大会。バスがエンストして真っ暗な山の中で一晩過ごしたことなど、思い出は尽きません。私は入部当初、3年間やっていけるか不安でしたが、先輩方が優しくしたので、やめなかったのだと思います。今は私も邑楽ジュニアで指導しています。子供たちに、レスリングは厳しいけど、楽しい思い出もたくさんできると伝えていこうね。

HERO'S IN GUNMA



寺田 光輝選手 (太田倶楽部)

オリンピック選手とスパーリングできるなんて、とてもうれしかった。松永選手はとても強かった。スパーリングだけでもうれしかったのに、最後に松永賞を決めるときに、「飛行機投げをしてきた『小学生』(※太田南中1年)」と言ってくれたとき、頭の中が真っ白になるくらい驚いた。目標は全中優勝！ 将来は松永選手のようにオリンピックに出てメダルを獲りたい。

【小学1〜2年】◇20kg級 藤生乙葉(大間々) ◇24kg級 清野大輝



千代田JrのNEWリーダー萩本龍！

kg級 石岩三奈(邑楽) ◇42kg級 阿部友香(明和) ◇42kg級 田部井祐太(邑楽)

松本篤史(日体大)強し！ インカレに続き優勝！ 全日本大学レスリング

11月15・16日、新潟県体育館において「内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会」が行われた。各大学から1名出場し、全階級の総計で大学のランクを決める同大会に、本県選手も活躍、特に安定感を増した松本篤史がインカレに続き優勝。日体大の総合優勝に大きく貢献した。

(邑楽) ◇28kg級 神藤俊(同) ◇12kg級 石川弘人(同) 【幼年】◇17kg級 加藤敦史(館林) ◇21kg級 清水聖那(邑楽) ◇21kg級 中里優斗(太田)

松本隆太郎(群馬ヤクルト) 国体連覇

国民体育大会

9月28日〜10月1日、大分県佐伯市総合体育館において「国民体育大会レスリング競技会」が行われた。昨年は総合第5位となったが、1〜2年生が多い今年の高校生メンバーは経験不足が否めず早期敗退。しかし、成年で松本隆太郎が実力を見せつけ2連覇達成。全日本初優勝に駒高い王手を放った。
入賞者で3位以内は次のとおり。
【成年フリー】◇84kg級 ③松本篤史(日体大) ◇120kg級 ②米山祥嗣(関学大附高コーチ)



豪快なボディスラムを決める松本！(写真はJOC)

戦力充実の関学優勝！ 84は恩田和明(大泉) 群馬県高校新人大会



新人戦団体優勝の関学メンバー

11月1・2日、城沼体育館において「群馬県高校レスリング新人大会」が行われた。団体戦では戦力充実の関学が久々の優勝。関東選抜で勝負をかける。
団体戦の順位と個人戦の優勝者は次のとおり。
【団体戦】①関学大附高 ②前西高 ③館高
【個人戦】◇50kg級 宗像海(関学)

①成年グレコローマン ◇60kg級 松本隆太郎(群馬ヤクルト)

◇55kg級 池田圭介(館高) ◇60kg級 菊井悠介(前西高) ◇66kg級 橋口光太郎(関学) ◇74kg級 木村政貴(館高) ◇84kg級 恩田和明(大泉高) ◇96kg級 小久保直貴(関学) ◇120kg級 竹内将美(富実高)
【女子】◇軽量級 岡田千晴(西邑楽) ◇中量級 上原榛奈(前西高) ◇重量級 新井明恵(富実高)

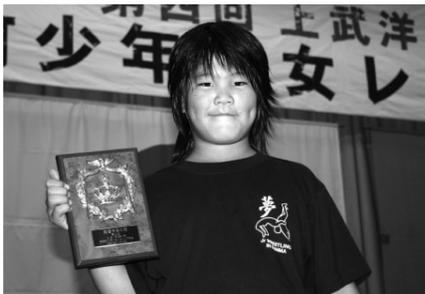
萩本龍(千代田) 優勝 邑楽 Jrは9階級獲る！ 群馬県小学生総体

11月2日(日)、城沼体育館で「第32回群馬県小学生総合体育大会レスリング競技会」が行われた。6年生にとっては最後の大会となるだけに、各選手奮闘。千代田ジュニアの萩本龍が落ち着いた試合運びで優勝、また、邑楽ジュニアは19階級中9階級で優勝した。
優勝者は次のとおり。

【小学5〜6年】◇30kg級 小島彩暉(大間々) ◇34kg級 金子麗一(同) ◇39kg級 加藤千寛(館林) ◇45kg級 萩本龍(千代田) ◇51kg級 石岩寛鷹(邑楽) ◇51kg級 木村優太(同) ◇51kg級 石岩寛鷹(邑楽) 【小学3〜4年】◇24kg級 清水翼(邑楽) ◇28kg級 高橋幸大(同) ◇33kg級 栗原零(千代田) ◇39kg級

上武杯は小林奏音(邑楽) 大関蘭2年ぶり優勝！ 上武杯少年レスリング大会

11月16日(日)、邑楽町民体育館において「第4回上武洋次郎杯少年少女レスリング大会」が行われた。MVPに相当する上武杯を地元・邑楽ジュニアの小林奏音が獲得した。県内選手の優勝者は次のとおり。



上武洋次郎杯を獲得した小林奏音

【中学生男子】◇170kg級 今村聖(太田) 【中学生女子】◇43kg級 大関蘭(おた) ◇56kg級 金子和(千代田) ◇156kg級 鈴木紅夏(太田) 【5〜6年男子】◇30kg級 小島彩暉(大間々) ◇51kg級 木村優太(千代田)

なでしこGUNMAのレスクイーン



前橋西高校 上原 榛奈さん(1年)

私は中学まで柔道をしていましたが、柔道の先生から「レスリングに向いている」といわれ、よく考えた末に前西高レスリング部に入りました。柔道と違った楽しさがあり、やっぱりレスリングに向いているのかなど最近思い始めました。小林先生は厳しいけど、選手のことをよく考えてくれるなと思います。尊敬するレスラー？ 菊井先輩ですね(笑)。本当です！ それとオリンピックで2大会連続で銅メダルを獲った浜口京子さんです。もう歳なのによく頑張っているなと思います。目標は、自分が納得できる、いい試合をするということです。

【5〜6年女子】◇43kg級 大出若奈(千代田) ◇53kg級 鈴木芽衣(太田) ◇153kg級 浜岡佑帆(伊勢崎) 【3〜4年】◇142kg級 田部井祐太(邑楽) 【1〜2年】◇20kg級 清野大輝(邑楽) ◇28kg級 小林奏音(同)

福田翼(拓大) 第2位！ 岩永義成(群大) も銅！ 東日本レスリング秋季新人戦

11月28・29日、東京NTCで「東日本学生レスリング秋季新人戦」が行われた。富実高出身のパワーファイター・福田翼が早くも頭角を現し、第2位に食い込んだ。
【フリー】 ◇96kg級 ③岩永義成(群大) 【グレコローマン】◇74kg級 ②福田翼(拓大)

山田亨(群大) 準優勝！ 群大勢の活躍が光る！ 全日本大学グレコ選手権

11月15・16日、駒沢公園体育館で「全日本大学グレコローマン選手権大会」が行われた。2度にわたるハンガリー遠征で力をつけた山田亨が準優勝、また船山直樹も3決進出。群大パワーを大いにアピールした。
◇84kg級 ③松本篤史(日体大) ◇96kg級 ②山田亨(群大)